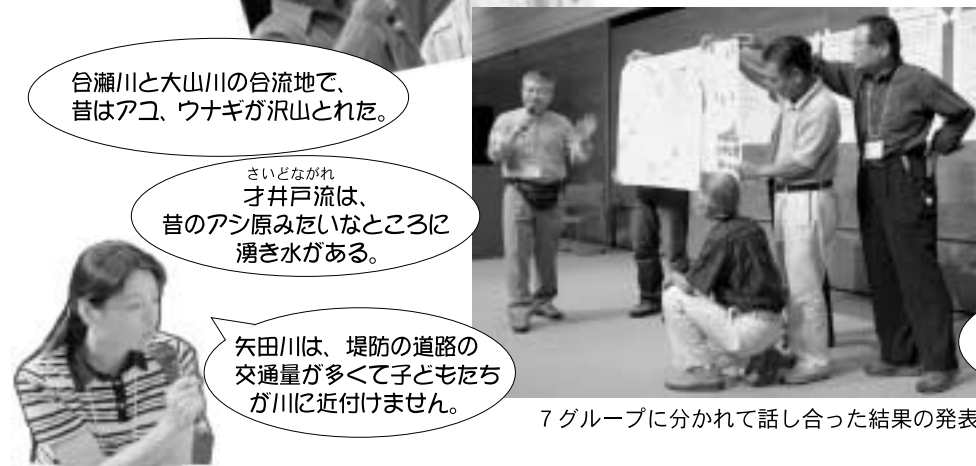


こんな感じで、
みんなが
流域の情報を出し合いました！



台瀬川と大山川の合流地で、昔はアユ、ウナギが沢山とれた。

さいどながれ
才井戸流は、昔のアン原みたいなのに湧き水がある。

矢田川は、堤防の道路の交通量が多くて子どもたちが川に近づけません。

子どものころ、ここに淵があってよく泳いだ所。

前は水が真白だったけど、最近はきれいになったね。



今と昔の情報を地図に書き込む作業

多治見は昔、土岐川堤の杉並木がすばらしかった。美しい風景を取り戻したい。

藤前干潟をぜひ見てもらいたい。

庄内緑地公園には、留鳥、渡り鳥がたくさんいます。

7グループに分かれて話し合った結果の発表

終了後の感想アンケート(抜粋)

川が好き、なことを再確認。「好き」を出発点に「コレカラ何とかしたい」→「何とかしよう」につながるうれしさを感じた。おもしろかったです。今後の意見の集約がむずかしいですね。スムーズにできたと思います。あとしっかりたのみます。みなさんの話でもっと多くの流域を考慮することが必要だと思いました。下流部(庄内川)の川の管理の知恵に感心しました。全体的に時間不足を感じた。色々の情報をもっている人が多いので、是非、順に講師になって話を聞く機会があれば、これがきっかけで「川に関する勉強」をしていきたいと思っています。いろんな人と地元の詳しい話が聞けて、おもしろくなってきました。土岐川庄内川の地域のことがよくわかり有意義でした。上、中、下流の人達と話が出来るので、これは面白そう。自分の人生は、結構、庄内川に深くかかっていたと認識した。川についての情報は、現地を見るに限る。テーブルでの理解、把握は、ほとんど不可。もっと問題をくみ上げる進行が今後必要。初めて会に出て、これから色々とおぼえます。庄内川への思い入れが、各人大変深く持っていることを改めて知りました。大変よかった。なかなかむずかしい内容を含んでいるが、大筋で方向性も出、皆とも知るきっかけ作りとなったのでよかった。どのような方向に進むのか、方向性がいまいち不明である。ある程度たったら部会を作って討議したら

みなさんの情報もお寄せください。
お待ちしております！

どうか。長い時間を上手に進めた。色々な意見が聞けて、とても良かった。この会のまとめをしっかりと行い、実のある会(組織)を作るようにしたい。討論されても実行の際、漁協の意見でつまづく事が過去にあった。生の市民参加ワークショップ初体験でした。様々なバックグラウンドを持った方々が集まって会議するむずかしさ、面白さを体感しました。市民活動グループと話し合っただけでよかった。今後話し合いのみでなく、実践として実のあるものに。よかった！よかった！手順は理解できるが、皆さんの意見集約の時間が不足していたように思う。防災の目で見ることが大切である。時間を多くして「情報」をもっと多く知りたい。土岐川の上流をもっとよく知ってもらいたい。次回を楽しみに参加します。出席の方たちの意見にうたれました。話をし過ぎ！聞き過ぎ！かな。グループは、ある一定回数は固定していただいが方が話がしやすい。急に参加したので何が何だかという感じだった。有意義でした。自然を守って行こう、山林、水を守って行こう。というような所を進めて行こう。大変よかったと思います。出来るだけ多くの意見を実行出来ますよう役所の方をお願いいたします。庄内川に思いをはせる人々が一同に集まり、庄内川の行く末を考える集団として協働が始まったと思います。上流から最下流までの人が集まり、多くの意見交換ができてよかった。住んでいる区域が違った集まりだったので、まとまりとしては充分なものではなかったような気がする。たくさんの方々がそれぞれ意見を持っていて、意見の交換も活発に行われたと思います。子どもたちのころも考えて、「親水」という意味で川の未来について考えられたらいい。自然をよみがえらそうとの感じを深く思いました。みなさんの気がまを是非共知恵として実行したいですね。上流から下流まで、昔の川の様子や今の状態まで、いろんな話が聞けてよかった。何か生まれそうな予感がしました

●以上41名の感想から



土岐川庄内川 コレカラプロジェクトNEWS

ニュース
2003年10月 NO. 3

流域の様々な方が、熱く川を語り合いました！

9/20 第1回 in 多治見 土岐川庄内川 市民意見交換会

市民意見交換会の登録者約90名のうち、この日は約半数の44名(愛知県30名、岐阜県14名)が参加。土岐川庄内川の上流から下流、支流、市民団体が活動をしている人、チラシを見て応募した人、学校の先生など、多様な顔が集まりました。はじめは上流からということで、第1回は多治見市の「多治見市民プラザ」が会場となりました。

会議の前半は、今後2年間の意見交換会の進め方について話し合いました。後半では、個々参加者の持つ川の情報、課題として感じていることなどを、グループ別にわいわいと地図上に出し合い、今後予定されている流域歩きで、どこを見たいかを話し合いました。

各グループの発表では、皆さんマイクを持つ手につい力が入り、持ち時間をオーバーするグループが続出しました。会の終了後は、同じ会場で、有志が残ったの交流会がなごやかに行われました。



【市民意見交換会の目標として確認されたこと】

- 土岐川・庄内川情報マップ
市民の視点での意見や情報を地図にまとめる。
- 市民からのアイデア・提言集
課題やアイデアを出し合い、計画に反映させたいことがらを提言集としてまとめる。
- 「協働事業」の計画
流域住民の連携、住民と行政との連携による実践の行動計画をたて、次の活動につなげていく。

この夏、6ヶ所でオープンハウスを開催

のべ2863人*に、土岐川庄内川へのご意見をいただきました！

河川整備の計画づくりにかかわる情報を多くの市民に提供し意見をいただく「オープンハウス」は、この夏、土岐市、多治見市、春日井市、名古屋市(西区、中川区、港区)の6ヶ所を巡回しました。

今回は、河川整備計画の大きな方針づくりにかかわる質問として、「どんな川にしたいか?」「不安はあるか?」「利用しやすいか?」などについての声を集めました。

来場者は、買い物中に足を止めて立ち寄った人が多く、展示を見たり、アンケートに答えたり、スタッフと話したりと、かわり方はいろいろでした。感想を聞いてみると、「買い物のついでに気軽に立ち寄れるのがいい」「展示がわかりやすい」と、おおむね好評でした。

*アンケート、ステッカーアンケートの回答者総数



オープンハウス会場では、PR用のカンパジを自分でつくるコーナーを設け、子どもたちに人気でした。川のクイズなどもあり、子連れで立ち寄る人が目立ちました。

「土岐川庄内川コレカラプロジェクト」に あなたも参加しませんか?

1. ハガキ、Eメール、インターネットHPからの参加
2. オープンハウスへの参加(次は年明けを予定)
3. 市民意見交換会への参加(登録が必要です)

*くわしくは、HPまたは事務所へ直接お問い合わせください。

発行/お問い合わせ
国土交通省 中部地方整備局
庄内川河川事務所
〒462-0052 名古屋市北区福德町5-52
フリーダイヤル 0120-4071-41
ホームページアドレス
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>

